



輝かしい伝統をベースに未来に夢開く 地方大学の姿を求め続けます

学校法人松商学園理事長 **藤原 一二**

明治31年に青年教育家であった木沢鶴人先生が「自主独立」を掲げ、熱き情熱をもって設立した松商学園は、今年度創立115年目を迎えました。今では大学院、大学、短期大学、高等学校、中等教育学校を擁する総合学園として信州はもとより全国に卒業生を輩出し、地域社会にしっかりと根を張っており、その伝統は脈々と受け継がれております。

松本大学、松本大学松商短期大学部は地域のみなさまの厚いご支援を受け、地域立大学としての自覚のもとに地域貢献を校是の柱として教育・研究に務めております。高齢化や人口減少により地方社会の衰退が懸念される現代社会に於いて、地方大学のあり方、存在意義が問われておりますが、松本大学は今日の地方大学のひとつのモデルとして全国より注目をいただき、教育・研究を通じて地方社会にとってなくてはならない大学を目指し、日々努力をしております。

現在の日本が抱える大震災や複雑化する国際情勢、長引く経済不況などの大きな問題は、大学で学ぶ学生達をはじめとしてこれからの若者が克服していかなければなりません。

私達はそのような難題に積極果敢に挑戦し、輝く未来を開く有為な人材の輩出に学園をあげて精魂を傾けてまいります。

「専門的力量」と「社会人基礎力」を兼ね備えた 地域社会の将来を担う人財育成とCOCの役割

松本大学学長 **住吉 廣行**

松本大学での教育スタイルの特色は、地域連携を取り入れている点にあります。地域社会（アウト・キャンパス）に飛び出し、まず現実をよく観察します。そこから、学生が「興味を持ち」「何故か」と考え「自分で考察し・調べる」という、実践的で主体的な学びが展開されます。

またこの地域連携の教育活動において体感・実感することで芽生えた問題意識が、ゼミナール・講義等、学内（イン・キャンパス）での学びと結びついて、「こうすれば解決出来る」という提案にまで深まる。このような「課題発見・解決型」の教育の流れを創り出そうと考えています。

地域社会全体をキャンパスと考え、「現場」から「理論」へと進める本学の新しい教育手法は、最近の学生気質とマッチし、「専門的学力」向上の面で成果を挙げています。さらに、世代を超え自然と交わされる会話・対話は、コミュニケーション力やプレゼンテーション力等を含む対人関係構築能力、いわゆる「社会人基礎力」も同時に高めています。

大学はこうした地域連携教育ばかりでなく、教員の得意分野での研究力量を生かして、地域活性化の中核的存在（COC=Center Of Community）としての役割を担うことができれば地域からの信頼感もさらに増すだろうと考えています。

「地域貢献」を掲げて、学生一人ひとりを大切にした人間教育を実践

松本大学建学の精神「自主独立」

松本大学基本理念

松本大学設立の趣旨には、本学が「教育・研究を通じた地域社会への貢献を目標としている」ことを掲げています。つまり「地域貢献」が本学の基本理念です。

使命・目的

松本大学は、学則第2条に「本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、本学園創立の精神たる自主独立に基づく人間教育を行うことにより、地域社会の振興と地域文化の発展に資する人材を育成し、もって平和で豊かな社会の創造に貢献することを目的とする。」と使命・目的を定めています。



大学院の理念

松本大学大学院健康科学研究科は、健康維持・増進を図るために栄養や運動を中心とする健康科学について深奥な学識を授けるとともに専門分野における理論と応用の研究能力および実践力を養い、それを備えた高度な専門的職業人を養成し社会に貢献することを目的とする。

健康科学研究科【修士課程】

「栄養科学」並びに「スポーツ科学」を基盤とし、関連する周辺学術分野と融和した「健康科学」の学術研究教育活動を行い、「健康づくり」という視点から課題を科学的根拠に基づいて適切に把握し、優れた思考と確かな技術を駆使して解決できる、専門性の高い指導的立場の人材を育成する。

総合経営学部理念

地域社会の総合的運営に関わる研究を推進し、それを基盤に、社会を構成する諸組織体のマネジメントに関する理解と能力を高めつつ、地域社会を総合的に捉える素養と、それにもとづく総合的な経営能力を養う。もって活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を養成する。

総合経営学科

社会一般および地域社会を構成する重要な要素である企業に関わる総合的な経営知識を教授し、地域社会の運営を視野に入れて行動しうる、良識ある企業人の養成を目指すとともに、企業社会で活動するための知識・技術を涵養する。

観光ホスピタリティ学科

ホスピタリティの精神・技術を活かし我が国観光の発展に寄与するとともに、持続可能な観光と福祉社会の基盤となる地域づくりに貢献するため、地域社会全体の運営にかかわる知識・技術を身につけた人材を養成する。同時に、現代的課題である万人対応型の観光に資する能力をも涵養する。

人間健康学部の理念

美しく豊かな自然に恵まれた環境のなかで、創造性に富み、人間性や社会性が豊かな人づくりを目指し、「食と栄養」「運動・スポーツ」を通して社会の活性化を図るとともに、人々の健康の維持・増進を図り、医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

健康栄養学科

- ① 疾病を予防し、健康を維持・増進する食生活を実現するために、食や健康そして障がいに関わる問題を教育・研究する。
- ② 人間の栄養状態を的確に把握し、適正化する方法を健康科学の面から探求し、専門分野において社会に貢献できる人材を育成する。
- ③ 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「人間栄養学」の視点から健康と栄養との関係を捉え、総合的に分析、評価できる高い専門性を備えた人材を育成する。

スポーツ健康学科

- ① 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「運動・スポーツ」の視点から研究・教育する。
- ② 幅広い教養と人間力を土台に、「運動・スポーツ」を学際的・総合科学的視点から捉え、多角的に分析・把握できる高度な専門性と実践力を備えた人材を育成する。

松商短期大学部の理念

松本大学松商短期大学部は、建学の精神「自主独立」に基づく人間教育を行うことにより、地域産業の振興と地域文化の発展に貢献できる人材を育成することを以て目的とし、「個性豊かな人材」、「地域社会に貢献できる人材」、「職業的に自立した人材」の育成を目指す。

商学科

現代社会の経済システムを動かしている企業や人間のビジネスを理解し、ビジネス社会で活躍する人材の育成を目指して、経済・金融・流通・会計の理論・技法を学ぶことを目的とする。

経営情報学科

現代社会の企業経営を支えている経営理論と情報システムを理解し、中堅企業人として活躍できる人材育成を目指して、企業経営と情報処理の理論・技法を学ぶことを目的とする。



ACCREDITED
2008

平成20年度(財)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。

全国から注目される松本大学・教育の取り組み —8年間で9テーマがGP(文部科学省)に採択

GP(Good Practice)とは、文部科学省が大学・短期大学等が実施する教育改革の取り組みの中から、「優れた取り組み」を選び支援するとともに、広く社会に情報提供し教育改革を促進する目的で、平成15年から平成23年度まで実施したものです。松本大学は大学・短大を合わせて8年間で9プログラムが採択。この実績は他大学にも例がない高い評価として大きな注目を集めました。

松本大学

- 平成21年度**
- 食の課題解決に向けた質の高い学士の育成
 - 大学全体が取り組む就職活動の支援を目指して
- 平成20年度**
- 若者の地元定着につなげる地域活動の支援
- 平成19年度**
- 地域社会人向けホスピタリティ人材育成及びスキルアッププログラムのための支援プログラム

松商短期大学部

- 平成21年度**
- メモ力育成を核とした単位制度実質化の取り組み
 - 産学連携・卒業生連携と就職ゼミによる支援体制の強化を目指して
- 平成20年度**
- 元気なキャンパスをつくり出す仕掛けの創出
- 平成18年度**
- キャリア教育をベースとした課程教育の展開
- 平成15年度**
- 多チャンネルを通して培う地域社会との連携